

渡辺 勝幸

宮城県議会議員渡辺勝幸

県政レポート 第3号

発行 宮城県議会議員渡辺勝幸事務所

発行日 平成28年8月30日

宮城県議会 第356回(平成28年6月) 定例会を終えました!

6月15日、宮城県議会第356回(平成28年6月)定例会が開会されました。この議会においては、平成28年度の宮城県補正予算を中心に議論し、村井知事は、平成29年度から拡充する子ども医療費助成の市町村に対する補助について、「3歳未満」にとどまる現行の対象範囲を「就学前」まで引き上げる考えを明らかにしました。また、富谷町を市に昇格する議案も審議、可決となりました。宮城県で合併によらない単独での市制移行は45年ぶりとなり、10月10日から正式に市となる予定となっています。

また議会開会初日の本会議で、政務活動費の不正支出が指摘された前議長辞任に伴う議長選が行われ、第40代議長に中山耕一氏(黒川)を選出しました。

この議会においては、現在のJR仙台貨物ターミナル駅(仙台市宮城野区)に整備が予定されている「広域防災拠点」についても議論、JR貨物が同駅の敷地譲渡と宮城野区岩切地区への貨物駅移転を決定したことを受け、県の取得費について予算案を審議し、可決いたしました。

東日本大震災発災時、全国から消防、警察、自衛隊が支援に駆けつけて下さったことは私たち県民の誰もがありがたく感じたことでありましたが、こうした支援部隊が発災後早期に宮城県内に入って下さったものの、初動期の情報不足により集結場所が定まっておらず、被災地への人員投入が効率的でなかったという問題点が指摘されていました。また支援だけではなく、救援物資等の集配においても、輸送車両や燃料の不足に加えて、大規模な物資集積拠点が県内になかったことから、全国から送られた大量の救援物資の取扱いは混乱をきたし、被災地のニーズに応じた適時適切な集配ができなかったという反省も指摘されております。

県議会においては、災害リスクの不安についての議論もありましたが、広域支援、物資輸送拠点の中核的機能を担うために、わが宮城県の「広域防災拠点」の整備を推進することは重要であると考えます。

渡辺勝幸は、経済商工観光委員会、産業振興対策調査特別委員会、議会改革推進会議に所属しています。

経済商工観光委員会では、仙台空港民営化を起爆剤として宮城県経済の活性化に資するインバウンド等観光政策、県産品の海外輸出支援などを議論しています。委員会として宮城県内の中小企業の優れた取り組みについて調査をしました(一ノ蔵、ヤマセ電気、震災を風化させないための語り部バスによる地域交流と地域活性化の取り組みについて、南三陸町商店街予定地など)。産業振興対策調査特別委員会では、「地域産品ブランディングと県産品海外販路拡大事業、農林水産物の海外販路拡大、農業の産業化について」岡山、愛媛、福岡県の取り組みについて調査しました。議会改革推進会議では、政務活動費の在り方についての議論をしています。



渡辺勝幸プロフィール

昭和50年生まれ仙台市若林区出身。41歳。沖野中、仙台一高、慶應義塾大法学部卒。慶應大大学院在学中に市川一朗参議院議員政策秘書に(平成12年より22年)平成27年宮城県議会議員(若林選挙区)初当選。現在、宮城県議会経済商工観光委員会委員等。東北大学大学院非常勤講師。仙台市立沖野東小PTA会長

宮城県台湾サポートデスクの新設

7月21日に行われた宮城県議会経済商工観光委員会において、県執行部より、渡辺勝幸が前回二月議会一般質問で取り上げた台湾現地サポートデスクの新設について報告がありました。これから宮城県として、台湾に対してもさらにインバウンド政策を進めることとなりました。



渡辺勝幸が取り組んだ主な政策テーマ及びその活動

県民の皆様から頂いた要望、行政調査・説明等、渡辺勝幸が今期取り組んだ政策テーマについてご報告します。一つでも多くの県民の声が政策として実現できるようさらなる努力をしてみたいです。

平成28年
4月～7月

地下鉄東西線新駅近辺の交通安全

連坊地区から要望のある新規信号の設置について。

南小泉地区の県有地の利活用について

地域の声を聞きながら、県有地の有効活用に取り組んでいます。

医療政策に関する意見交換会

自由民主党・県議会議員 医療・福祉議員連盟役員会に出席しました。



NPOの活動を支援

自民党政務調査会公益法人・NPO等特別委員会に出席しました。NPOの活動を支援することにより、社会の公益活動を推進します。

スマート水素ステーションの視察

三月に導入されたスマート水素ステーションを視察しました。

「拉致問題は本当に解決できるのか」

飯塚繁雄家族会代表とともに拉致議連として活動しています。

- 宮城県障害者スポーツ指導者協議会総会に出席。副会長として障害者スポーツの推進に努めております。
- 「輸出拡大戦略、インバウンド観光への取り組みについて」（青森県観光国際戦略局、港湾空港課、NPO法人地域情報化モデル研究会、函館市観光部国際観光課）。「精神看護、看護情報の現状と医療福祉分野について」（広島国際大学看護学部）。
- 国土交通省港湾局長に「宮城県の港湾の復興に関する要望書」を提出しました。
- 宮城県私立幼稚園教育振興大会宮城県私立幼稚園PTA研修大会に出席しました。子育て政策の推進に尽力しております。



○個人献金をお願い 地盤も看板もない渡辺勝幸の政治活動を支えるためには、皆様の力強いお支えが引き続き必要です。A4一枚の活動報告を5千世帯に郵送するだけでも、80円×5千世帯＝40万円の費用がかかります。切手1枚でも大変助かります。皆様のご協力をなにとぞよろしくお願い申し上げます。なお、献金いただけます場合は、事務所までご一報くださいますようお願い申し上げます。

●「渡辺勝幸&愛知治郎」国政県政政談茶話会を開催しました。



7月2日、【渡辺勝幸&愛知治郎】国政県政政談茶話会を沖野市民センターで開催しました。愛知治郎参議院議員とともに、政治課題についてお話ししました。

●東北大学大学院で講義をしました。

4月から8月にかけて、東北大学大学院情報科学研究科で非常勤講師として、情報技術経営論の講義をしました。今年で三年目となりますが、大学院生、留学生を対象に、起業とIT、政策形成過程についての講義をしました。

●沖東夏まつりを開催しました。

7月30日、沖東夏まつりを開催。沖野東小PTA会長として、夏まつりの実行委員長を務めました。暑い一日でしたが、子供たちが大喜びのお祭りでした。

その他活動

第3回 渡辺勝幸 県政報告会

日時

平成28年

9月11日(日) 19時～

場所

下飯田集会所
(若林区下飯田屋敷南)

5月22日、第2回の県政報告会を南小泉町内会館で開催しました。多くの方にお集まりいただきありがとうございました。今回は下飯田地区で開催いたします。宮城県議会6月議会における議論はじめ若林区の地域的課題について渡辺勝幸がお話をします。



お気軽にご参加ください!

平成23年より継続してきた、朝の街頭活動は600回となりました。
(平成28年7月27日現在)
「つくる」ののぼりを見かけたらご声援ください。



県政レポート1号、2号発行後多くの方からお手紙やメールをいただきましてありがとうございました。県政活動の参考にさせていただいております。

県政についての声をお聞かせください

宮城県議会議員 渡辺勝幸事務所

〒984-0816 仙台市若林区河原町1丁目7-29-101

TEL 022-398-6266 FAX 022-398-6269

E-mail watanabekatsuyuki@yahoo.co.jp

@katsuyuki510 facebook.com/katsuyuki.watanabe

HP <http://katsuyuki.jp/>

※街頭でもお声がけください!

